

## アジア学院が2019年のユネスコ日本ESD賞の国内審査を通過

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。今日は、嬉しいお知らせがあります。栃木県那須塩原市にある学校法人アジア学院が、2019年のユネスコ日本ESD賞の国内審査を通過したというお知らせです。アジア学院の校長先生である荒川朋子先生には、私もいろいろとご指導を受け、非常に勉強させていただいております。
2. パリに本部のあるユネスコは、ESD賞という素晴らしい賞を設けていて、選ばれたところを表彰します。その国内審査が過日あり、日本から推薦される3団体が決まりました。その1つがアジア学院で、国際審査会に進出するというお知らせがありました。これはとても嬉しいことですので、皆さんと一緒に喜びたいと思います。
3. ESDは、英語を略したものです。EはEducation、「教育」です。SはSustainable、「持続的な」です。DはDevelopment、「開発」です。ですから、ESDはEducation for Sustainable Development、「持続可能な開発のための教育」の略です。

これは、日本では文部科学省が、今後取り組むべき最大のテーマとしている学校教育の中心的な考え方として掲げている、素晴らしい考えです。やはり、社会には持続可能な開発が必要で、そのためには教育が大事だということです。
4. 実際に、その素晴らしい活動を日本政府が一所懸命に行っています。そのため、ユネスコのパリ本部では、日本ESD賞という日本の名前をつけた賞を作ってくださいました。それに世界中から50ぐらいの団体が申請して審査を受け、最終的には、2つないし3つぐらいの団体が表彰されます。日本で、今までにパリの本部で表彰を受けたのはまだ1つしかありません。今回は日本から3つの団体が国際審査に進み、その1つがアジア学院です。ぜひアジア学院も表彰されるといいなと思います。
5. アジア学院についてはご存知の方も多いと思いますが、せっかくなのでご紹介させていただきます。所在地は、栃木県那須塩原市です。1973年からですので、もう40年以上も活動なさっている団体です。アジア、アフリカ、太平洋のいろいろな地域や国々から研修生をお招きしていま

す。最初の頃はアジアの方々が多かったので、アジア学院という名前をつけたと一度お聞きしたことがあります。徐々にアフリカや太平洋の国々の農村地域から代表をお招きし、その土地に根を下ろして、土地の人々と共に働く、草の根の農村の指導者を育てる活動を行っています。つまり、農業を中心に行っている村・地域の指導者を、学生として招いています。

6. 私も何回か訪問させていただきましたが、学生といっても、アジア、アフリカ、太平洋のいろいろな国々で農村の指導者として実際に活躍なさっている方々が、もっともっとリーダーシップの勉強をしたい・様々なスキルを身に着けたいということで、各農村から選ばれていらっしゃる学校です。いろいろな国からお出でになっていますので、国籍や宗教、民族、習慣、価値観などに違いがあります。それらの違いを認めつつ、公正で、平和な社会の実現のために実際に役立つような実践的な学びを行っている学校です。

7. 研修の期間は、9か月間です。今年も4月から始まったようですので、4月から9か月間の農村の指導者養成の研修になります。一番大事にしていることは、命を支える食べ物を作ることにこだわって、有機農業による自給自足を基本にしていることです。学生の皆さんは、座学、つまり教室で勉強する他に、ディスカッションをしたり、見学をしたり、グループ単位で農場の運営をしたりします。これらの研修を受けることによって、自分の国でコミュニケーションを取りながら素晴らしいコミュニティ、一体感になれるコミュニティを作りたいと考えています。そのために一番大事なことは、自分自身で立つという自律ですので、自分の国のコミュニティの自律を導くリーダーシップを養うことを目指しています。

8. ここで勉強している科目は、指導者論や開発論、持続可能な農業技術、日本の文化などです。共通語は英語で、全部の授業を英語でやっています。それで、いろいろな国からいらっしゃった多くの学生が、多様な価値観を認識すること・自律することを中心に、リーダーシップについて勉強しています。

リーダーシップの考え方の基本は、サーバントリーダーシップ、つまりリーダーはサーバントである・奉仕する者であるということです。私も、この考え方は素晴らしいなあと思います。

9. 今回は、栃木県那須塩原市にあるアジア学院が、2019年のユネスコ日本ESD賞という素晴らしい賞の国内審査を通過した3つの団体の1つに選ばれたということですので、ご報告させていただきました。皆さんと共に祝いしたいと思います。